

## 令和6年度(2024年度)総務常任委員会管外視察の概要

- 1 視察日 令和7年(2025年)1月23日(木)～24日(金)
- 2 視察者 総務常任委員会(5名)  
末松直洋(委員長)、松田三郎、内野幸喜、松村秀逸、幸村香代子
- 3 視察の概要

### (1)人と防災未来センター

人と防災未来センターは、阪神・淡路大震災の経験を語り継ぎ、その教訓を未来に活かすことを通じて、災害文化の形成、地域防災力の向上、防災政策の開発支援を図り、安全・安心な市民協働・減災社会の実現に貢献することを目的とし設置された。

今回の視察では、資料収集や保存、災害対応の現地調査・支援等の取組について説明を受け、施設見学を行った。

人と防災未来センターからは、今年は発災から30年の節目の年である、震災経験が風化し、防災意識が低下していると言われている、後世に阪神・淡路大震災の教訓が確実に伝えられ、活かされていくことで災害による被害の軽減につながるとの説明があった。



### (2)関西広域連合広域防災局

関西広域連合は、関西地方の2府4県4政令市、鳥取県及び徳島県で構成され、広域防災局は、関西全体の防災の司令・調整役として、被災府県の応援・受援を迅速に実施することを主な目的としている。

今回の視察では、関西広域連合による応援・受援の調整、関係機関・団体との連携等について説明を受け、施設見学を行った。

関西広域連合広域防災局からは、地震津波、風水害、感染症、原子力災害等を想定して、関西で発生した災害への対応だけでなく東日本大震災、熊本地震、能登半島地震等関西以外の地域への応援も実施してきた、近い将来発生が想定されている南海トラフ地震については、南海トラフ地震応急対応マニュアルを作成、的確な応援・受援が行えるよう取組を進めているとの説明があった。

